

夏休みの宿題 児童、疑問解消

多治見で「おたすけ広場」

小学生が夏休みの宿題を計画的に進めるのを無償で支援する「宿題おたすけ広場」が、多治見市本町のプラティ多治見内とうしんウェイプラザで開かれている。児童はボランティア講師に分からない箇所を質問しながら勉強に取り組んで

いる。6、20日も開く。

東濃信用金庫(同市)が地域貢献の一環で初めて企画した。計4回開催し、7月30日の第2回には、多治見、土岐、可児市の1、6年生9人が参加。愛知県春日井市の学習支援のNPO法人「東海つばめ学習会」の理事長柿本知樹さん(29)「春日井市」と、同金庫職員、多治見西高校インターアクトクラブの生徒計6人が、児童に付き添った。

柿本さんは「悩んでる？」などと声をかけ、理解できているかどうかを確認。小数と整数の掛け算問題などを解いた昭和55年の西村匡揮君(10)は「家だと面倒くさくて、なかなか取りかれない。教えてもらって早くできる。4回全部来るつもり」と話した。

各回午前10時～正午で、保護者の送迎が必要。申し込みは同プラザ、電話0572(56)2202。

(小森直人)



ボランティア講師に質問しながら宿題に取り組む児童。多治見市本町、とうしんウェイプラザ